

新たな学校運動部活動の展開に向けて

～学校運動部活動指導士の養成～



公益財団法人 日本スポーツクラブ協会

平成30(2018)年3月にスポーツ庁が策定した『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』において、運動部活動が我が国のスポーツ振興を大きく支えるとともに、異年齢との交流の中で、生徒の多様な学びの場として教育的意義は大きいと評価しています。一方では、少子化の進展や学校における働き方の改革など社会・経済環境の変化に伴い、これまでと同様の運営体制での維持は困難であるとしています。また、令和2(2020)年9月の文部科学省の『学校の働き方を踏まえた部活動改革』では、令和5年度から休日の部活動を段階的に地域に移行することとしています。この移行期について、スポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」

の令和4年6月の報告書では、令和7年度末を目途とすることが提言されています。

こうした国の動きを踏まえ、公益財団法人日本スポーツクラブ協会(以下「クラブ協会」)では、同ガイドラインで示された内容を主とする講習・研修を部活動指導員(予定者を含む)に対して実施することとし、地域でスポーツ指導に関わりたい希望者すべてを対象として、新たに「学校運動部活動指導士(クラブ協会における呼称)」の資格を設け、令和3年度から養成に注力しています。

学校運動部活動にもSDGs(持続可能な開発目標)が求められている状況を踏まえたクラブ協会の指導者養成活動をご紹介します。

クラブ協会が目指す学校運動部活動指導士とは

地域スポーツ指導に関わりたいと思っている方すべてを対象とし、次のような指導者を育成・養成します。

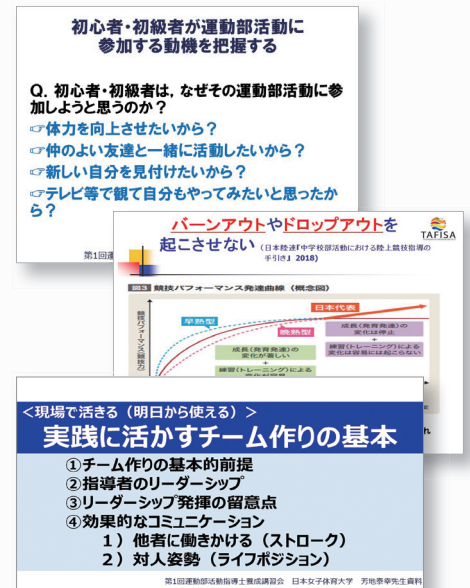
- 運動部活動の指導ができる地域スポーツ指導者
- 運動部活動と地域スポーツクラブとの円滑な連携に資する指導者
- 生涯にわたってスポーツに親しむスポーツライフスタイル形成を踏まえた指導ができる指導者
- 参加者主体のアプローチができる指導者
- 多種目(マルチスポーツ)及びシーズンスポーツの指導ができる指導者
- 学校に関する関連法規に精通した指導者
- 初心者・初級者に運動ができる状態にする指導者

学校運動部活動指導士の学習カリキュラム

学校運動部活動指導士として備えるべき知識、技能として①～⑤について学習します。

- 1 スポーツ・運動の技術指導力（特に初級指導力）を支えるスポーツ科学領域の基礎知識及び応用知識の習得
- 2 指導対象となる中学生年代の生徒のこころと身体の発育発達、いじめ、ハラスメントに関する知識と実践力（対応力）の習得
- 3 学校教育関連、スポーツ関連法規の学習と習得
- 4 部活動指導員としての職務分掌関連知識の習得
- 5 部活動運営に関係するステークホルダーとの連携協力

上記の事項について、スポーツ教育学、体育科教育、生涯スポーツ、スポーツ医科学等の専門家による検討委員会を設け、ガイドラインを踏まえて学習内容を精査するとともに、重要な事柄については2年ごとに検定試験等でブラッシュアップすることとしています。



学習領域	学習内容
部活動の意義と活動方針・法規	運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（2018）
	学校教育法施行規則の一部を改正する省令の施行について（2017）
	法律関連（スポーツ基本法等）
青少年期のこころと体	中高生年代のこころと体
	部活といじめ・ハラスメント
部活動指導員の身分・職務	部活動指導員の身分
	部活動指導員の職務分掌
部活動のマネジメント	活動計画の作成・部活動を取り巻くステークホルダーとの連携
	チームビルディング、グループダイナミクス
スポーツ科学・スポーツ医科学を基にした指導スキル	スポーツ科学領域（トレーニング科学、スポーツ教育学、コーチング科学、スポーツ経営学、生涯スポーツ論等）
	スポーツ医科学領域（スポーツ生理学、スポーツ栄養学、発育発達学、救急処置法等）
	教育心理学、カウンセリング、アンダーコントロール等

講習・研修会の時間割

学校運動部活動指導士の研修・講習会は、次のような内容で年2回実施します。

第1回学校運動部活動指導士(資格認定)養成講習会 時間割

	講義科目	形式	担当者	所属
第1日目	生活を豊かにする部活動指導の倫理・理念と指導者の役割行動	講義	友添秀則	日本学校体育研究連合会
	学校部活動の歴史と将来	講義	友添秀則	日本学校体育研究連合会
	運動学習理論(段階的指導法)+振り返り	演習	岡出美則	日本体育大学
	生徒の自主性を育む目標設定と練習計画の立案	演習	岡出美則	日本体育大学
	部活動の継続とドロップアウト(スポーツの社会化)	講義・演習	山口泰雄	流通科学大学
	スポーツ指導法(初心者・初級者指導のコツ)	講義・演習	細越淳二	国土館大学
	部活動指導員の職務と部活動の組織運営	講義	日比野幹生	日本体育大学
第2日目	中学生年代の体力トレーニング法	講義・演習	杉田正明	日本体育大学
	中学生年代における性差とスポーツ指導法	講義・演習	石田良恵	日本ウエルネススポーツ大学
	部活動の組織運営とステークホルダーマネジメント	講義・演習	桑田健秀・菅原淳一	ピボットフット 大田スポーツコミッション
	安全確保と成長期におけるケガ等の救急処置	講義・演習	野田哲由	了徳寺大学
	コーディネーショントレーニングの理論と実践	演習	東根明人	コーチングバリュー協会
第3日目	総合型地域スポーツクラブと学校部活動	演習	川西正志・柳沢和雄	北翔大学 武庫川女子大学
	中学生年代に必要なスポーツ栄養学	講義	本田由佳	慶応義塾大学
	生徒カウンセリング/アンダーコントロール・ストレスマネジメント	演習	倉盛美穂子	日本女子体育大学
	コーチングの心理学(モチベーション)	講義	岩崎由純	トレーナーズスクエア株式会社
	チームビルディング	演習	芳地泰幸	日本女子体育大学
	学校スポーツ施設・設備・用具の安全管理	講義・演習	瀬戸口祐剛	セノー株式会社

*講義科目と担当者は変更することがあります。

前回資料



運動部活動指導者必携のハンドブック

クラブ協会では、部活動指導員必携の「スポーツの未来を開く部活動指導員ハンドブック」（岡出美則教授編著）を成隆出版社から刊行しました。Amazonで書籍・Kindle版を販売中（書籍は書店でも注文できます）。執筆者は、以下の6名の専門家です（50音順）。



岡出美則氏

■ 岡出美則氏：日本体育大学スポーツ文化学部長、日本スポーツ教育学会副会長

■ 菅原淳一氏：大田スポーツコミッション理事、元東京都大田区立中学校校長

■ 友添秀則氏：『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』作成検討会議座長、『運動部活動の地域移行に関する検討会議』座長、スポーツ庁スポーツ審議会委員

■ 萩裕美子氏：東海大学教授、スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員

■ 日比野幹生氏：日本体育大学スポーツマネジメント学部長、元スポーツ庁競技スポーツ課 専門官

■ 舟木泰世氏：尚美学園大学専任講師、元スポーツ庁健康スポーツ課係長



友添秀則氏

クラブ協会のスポーツ・運動指導者の養成

クラブ協会は、ライフステージに応じたスポーツ・運動指導者の養成とともに、スポーツクラブマネジャーの養成など総合型地域スポーツクラブの支援にも取り組んでいます。

老年期 ……介護予防運動スペシャリスト、中高老年期運動指導士

壮年期 ……スポーツインストラクター

青少年期 ……学校運動部活動指導士

児童・幼年期 ……こども身体運動発達指導士

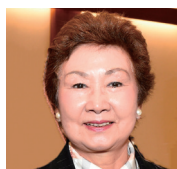
日本スポーツクラブ協会とは

体操競技オリンピックの小野喬氏と故小野清子氏が1977年に設立した財団法人を礎とする公益財団法人。（2010年に公益財団法人の認可）

誰もがスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指し、各スポーツクラブのサポート、国民の健康体力づくり支援、各種スポーツ・運動指導者を養成しています。



小野喬氏



故 小野清子氏

問い合わせ先

公益財団法人日本スポーツクラブ協会

電話 03-5354-5351

E-mail info@jsca21.or.jp

URL <http://jsca21.or.jp>

151-0053

東京都渋谷区代々木 3-1-10-102



※ 部活動指導員を対象とした事前・事後の研修のご相談はメールにて承ります